

成果報告書

1 大学等名	広島経済大学	
2 教育研究活動	区分	②ICT 環境の整備・有効活用
	テーマ	地域通貨の普及・促進に向けた取り組み ～安芸太田町 morica を活用した DX 化の推進～
3 連携した市町	安芸太田町（広島県）	
4 連携した企業、団体等	安芸太田町役場	
5 参加学生	経営学部・経済学部（3 回生 14 名・2 回生 7 名）	
6 活動の内容	<p>【2023 年】</p> <p>4 月 2 日：安芸太田町役場訪問 顔合わせ、安芸太田町地域通貨「morica」の普及促進状況の共有</p> <p>5 月 23 日：安芸太田町役場（IT 推進員）との規格骨子の打合せ</p> <p>7～9 月：開催場所の調整と手配、講座資料作成など</p> <p>10 月：第 1 回地域通貨アプリ活用講座の開催</p> <p>11 月：第 2 回地域通貨アプリ活用講座の開催</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>安芸太田町役場との打合せ 1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>安芸太田町役場との打合せ 2</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>地域通貨機器の学習風景 1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>地域通貨機器の学習風景 2</p> </div> </div>	

参加費無料 / morica

楽しく学べる morica アプリ講座

講師が学生だから質問しやすい!!

アプリでできることは?

残高の確認方法は?

第2回目 2024年 11 / 19 (火)

午前の部 10:00~ 12:00 先着10名

午後の部 13:00~ 15:00 先着10名

会場 安芸太田町役場 持参物 スマホ、moricaカード 等

申込 安芸太田町役場 0826-28-2111

・上記の電話番号にてお申込みを受け付けております。
・ご来館によるお申込みも受け付けております。

主催 安芸太田町役場 広島経済大学 藤原ゼミ(一同)

申込締切 2024年 11月 12日 (火)

制作物) 講座募集のチラシ

7 活動効果

本事業では、学生が町民と交流することで、デジタル社会の課題認識と安芸太田町の地域通貨の課題解決に向けた施策について、自発的な学びを行うとともに、地域通貨における新たな課題を認識するきっかけづくりを目的として実施した。しかしながら、スマホそのものの機能を十分に理解されていない高齢者も多く、地域通貨への関心度は低いことがわかった。一方で、高齢者のスマホ所持割合が他の町よりも高い状況にあり、普及促進に向けた基盤はできつつある。

デジタル化が進む中、特に高齢者のデジタルデバインドに向けた対策が求められるところではあるが、有効な方策は確立されていない状況にあり、こうした活動を学生自らが行うことで気軽に相談でき、解決に導くことができ、学生自身が本講座を通じて地域住民との交流機会を促進することは有効な1つの手段である。また、地域課題を研究する学生の研究機会の場としても有効であり、地域通貨の普及にあたってはスマホの理解などを念頭に置き推進していくことが今後の課題でもあることがわかった。